

A. 主な動き

1. 内政

▼大統領選出に向けた動き

- ・21日、AELは評議会を開催、次官任命問題に関し、AEL各党は昨年の議会選挙の結果に基づき各省次官候補者を推薦し、各大臣が最終的に決定する案で合意した旨発表。
- ・21日、ギンプ自由党党首は、AELは議会過半数による大統領選出実現の可能性につき近日中に憲法裁判所に判断請求を行う意向と発言、同時に、地方選挙と同時もしくはそれ以降の国民投票実施を経た憲法改正による大統領選出の可能性に言及。
- ・23日、ルブ大統領代行は、AELは大統領選出実現に向けた6通りの方法を検討中と発言。一方、ヴォローニン共産党党首は、AELにより検討されている大統領選出の方法はトリックに過ぎず、共産党がかかる手段に協力する可能性は無い旨発言。

▼政党統合の動き

- ・22日、フィラト首相(自由民主党党首)とウレキャン「我々のモルドバ」党首は、両党統合の合意文書に署名。自由民主党は、4月10日予定の党大会において、右統合への同意及びキシナウ市長選挙への立候補者を決定する見込みと発表。
- ・22日、ツルカン「統一モルドバ」党首は、同党員の多くが民主党に加入するとの情報を否定し、民主党との統合協議の停止を発表、23日、「統一モルドバ」党の共和人民党及び社会政治運動「New Force」党との統合決定を発表。

▼その他

- ・20日、オレグ・ヴォローニン氏(ヴォローニン共産党党首の息子)は、共産党への加入を発表。ヴォローニン共産党党首は、オレグ・ヴォローニン氏が近い将来に自らの後継者になる旨の情報を否定。
- ・23日、フィラト首相は、改革実行に関する政府の活動に対する不満を表明、28日以降に各省庁を訪問し改革実行を妨

げる問題を追求する旨発表。

2. 経済

- ・24日、経済・予算・財政議会内常設委員会は、タバコの消費税について合意に達せなかったこと等を理由に、12日に閣議で採択されていた2011年予算の審議を延長。

3. 外政

▼24日、フィラト首相のブリュッセル訪問

- ・フィラト首相は、ブリュッセルにおいて、欧州人民党大会に出席。
- ・フィラト首相は、フィーレ欧州拡大・近隣政策担当委員と会談、モルドバの欧州統合、沿ドニエストル問題解決にかかる「5+2」者公式協議の再開見通し等につき協議。フィーレ委員は、モルドバの改革の安定性は国家元首選出に伴う危機の克服にかかっている旨発言。
- ・フィラト首相は、デ・グフト貿易担当委員と会談、EUとの深化した包括的FTA創設にかかる欧州委員会勧告実施のための国家計画、EUの対モルドバ自主的特恵、モルドバ製品の対EU輸出枠拡大等につき協議。

4. 沿ドニエストル

- ・21日、EU外務理事会は、沿ドニエストル指導部に対するEUへの渡航禁止制裁の1年延長及びその適用の6ヶ月延期を決定。
- ・22日、カラーシン露外務次官とライチャーク欧州対外活動庁(EEAS)欧州・中央アジア局長と会談、沿ドニエストル情勢につき協議。
- ・22日、ラザル副首相兼経済相は、モルドバはモルドガス社の資産をモルドバ側と沿ドニエストル側で分割するよう求めており、本件がモルドバ・露経済協力委員会会合でも協議された旨発表。

B. その他の動き

3/24 (木)

- ・沿ドニエストル合同委員会(JCC)において、モルドバ代表団は安全保障地帯における沿ドニエストル側の軍事的増強及びこの問題の透明性欠如に関し懸念を表明。

3/25 (金)

- ・30人以上のロシア人の若者達が、キシナウにおける NATO Information and Documentation Center 前において、沿ドニエストル問題へのNATOの関与に反対する抗議集会を実施。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。(了)